

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 □ 行計対象

事務事業名 (中事業)	27097 日本のへそ西脇地域食材でおもてなし支援事業				
基本政策	02 産業が元気！活力とにぎわいあふれるまち				
政策	02 にぎわいを創出する観光と多様な交流				
施策	01 交流基盤の強化と交流イベントの充実				
実施形態	全部委託				
事業期間	単年度	平成27年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条項					
予算科目	01-060103-080100				
部名	26 産業活力再生部	課名	01 農林振興課		
課長名	村井 昌徳	T E L	0795-22-3111	内線	323

2. 対象・目的・内容

事業概要	地域食材の活用により、郷土愛と思いやりを持って来訪者をもてなし、地域経済の活性化を目的とした取組を支援する。
事業の対象 (誰・何を)	市民・西脇ローストビーフの会
事業の目的 (どういう状態にするために)	地域食材の活用により、郷土愛と思いやりを持って来訪者をもてなし、地域経済の活性化を目的とする。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	兵庫県内産牛の肉フェス開催 西脇ローストビーフPR強化月間スタンプラリーの開催 西脇グルメ定着までの補助及びPR

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成26年度決算額	0	-	-	-	-	-	-	-
平成27年度決算額	18,000	15,000	0	0	0	0	0	3,000
平成28年度決算額	7,800	0	1,000	0	0	0	2,300	4,500
平成29年度予算額	2,300	0	0	0	0	0	2,300	0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成28年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成28年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.30	0.00	0.30	2,338	7,800	10,138
事業費の主な用途		肉フェス開催委託料、西脇ローストビーフイベント開催委託料			

平成29年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	肉フェス開催回数				単 位	回
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値						
	実 績 値			1			
	経 費 (千 円)		7,604				
単 位 当 た り の コ ス ト		7,604					
活動 指標 ②	指 標 名	西脇ローストビーフイベント開催回数				単 位	回
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値						
	実 績 値			1			
	経 費 (千 円)		2,534				
単 位 当 た り の コ ス ト		2,534					
成 果 指 標 ①	指 標 名	肉フェス来場者数				単 位	人
	説 明 や 数 式	平成29年3月19日(日)肉フェスに来場した人数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値						
	実 績 値		11,000				
	経 費 (千 円)		7,604				
単 位 当 た り の コ ス ト		0.69					
成 果 指 標 ②	指 標 名	西脇ローストビーフ取扱店舗数				単 位	店
	説 明 や 数 式	市内で西脇ローストビーフを提供する店舗数					
	年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	目 標 値						
	実 績 値		14				
	経 費 (千 円)		2,534				
単 位 当 た り の コ ス ト		181					
実 績 ・ 成 果 等 の 説 明	肉フェスの開催に当たって3月下旬は就職先や進学先も決まり、都市から1時間程度で観光できる位置にあるため、多くの集客が見込めた。当日は天候や日程等の条件が良く、イベント情報の新聞掲載のほかラジオやテレビ出演も功を奏し、予想以上の集客があったことは今後のイベント広報の方法を考える機会となった。来場者数は公表では11,000人となっているが、イベント途中で交通規制をかけ会場に入れないようにしたため、規制をかけなければ30,000人以上の来場者があったと推測している。						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	3	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
	事 業 の 総 合 評 価	継続実施					
説 明	平成29年3月19日(日)に肉フェスを開催し、県内神戸ビーフ8産地と北播磨・東播磨グルメ、西脇ローストビーフのPRを行った。イベント情報の新聞掲載をはじめ、ラジオ・テレビ出演など積極的な広報活動の結果、11,000人の来場者数となった。当日は会場に入れない来場者も多く、市内の飲食店が観光客で溢れる光景も見られた。平成27年度の西脇グルメ開発ワークショップで考案された西脇ローストビーフはこれから県内外に認知されるものであり、継続して本事業を行うことにより地域食材を使った本市の活性化を図る。						
2 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	3	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	5
	事 業 の 総 合 評 価	改善・見直し					
説 明	「おもてなし」を前面に打ち出した事業であり、早々に売り切れが発生した状況を考えると西脇市のおもてなし度について全て好印象で終わることができたとも考えにくい。おもてなしとは何か、どうあるべきかなどを含め検討を行う必要がある。地域食材「黒田庄和牛」の評価がどれほど上がったのか、シェア拡大にどうつながったのか、イベントの市民評価はどうであったのかなどを検証してもらいたい。市外から継続的にどれだけの人を呼び込めるかが課題であるため、料飲組合の部会と市が連携し、継続的な市外でのPR事業も検討されたい。						